

かながわ 労福協 1

神奈川県労働者福祉協議会

2024



東海道
宿場巡り

神奈川県①

川崎宿



六郷川(多摩川)の渡し付近(左:江戸時代 右:現在)

川崎宿は、他の宿より遅れて元和9年(1623年)につくられました。開設後は厄除けで知られる川崎大師信仰が広がると共に大いに栄え、旅人はもちろん多くの参拝客の往来で賑わいを見せました。また、幕末には下田から江戸へ向かったアメリカ総領事・ハリスも、ここに宿泊したといわれています。現在、第二次世界大戦の戦火や都市化により当時の景観はありませんが、東海道の道筋はそのまま残っており、東海道沿いの寺院等にある石造物がその爪痕を残すのみとなっています。

Contents

謹賀新年(神奈川県労福協 林会長挨拶/中央労福協 芳野会長挨拶)
連合神奈川/神奈川県労福協
中央労金「退職予定者向けセカンドライフセミナー」/
こくみん共済coop「日本の労働運動・協同組合運動の原点を学ぶ」
地域労福協だより(横浜労福協/三浦半島地域/相模原地域)
おいしく食べて、いつも元気に“大根”/ワークピア横浜
インフォメーション(神奈川県福祉協会)
図書カードが当たる“8個のまちがいさがし”/読者のお便り
神奈川ぶらり散歩“東海道 川崎宿”

神奈川県労福協:タオル一本運動寄贈式



きょうちゃん
労福協マスコット

Vol.213

かながわライフサポートセンター「かながわ生活相談ネット」 <http://www.lifesupport-kanagawa.net>
介護や生活全般に関する無料電話相談をお受けしています。一人で悩む前に、まずお電話を!

☎0120-786-579 月~土曜日 午前10:00~午後6:00 (祝日および年末・年始は休み)

【ホームページからも相談ができます】



神奈川県労働者福祉協議会
会長 林 克己

「助け合える」 社会づくりをめざして

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は神奈川県労福協に対するご理解とご支援を頂き、心より御礼申し上げます。

皆様方におかれましては、ご家族お揃いで健やかに新春をお迎えのことと

お慶び申し上げます。

さて、神奈川県労福協は昨年の6月の総会で、アフターコロナの社会を見据えた運動の進化と「労福協2030ビジョン」にもとづく持続可能な社会の構築にむけて、労働団体・福祉事業団体・地域労福協との連携を一層強化し、労働者自主福祉運動の推進に全力で取り組み、みんなで「つながる運動」を広げて「安心・共生の福祉社会」をめざすことを確認しました。

とりわけ、「タオール一本運動」や「フードバンク活動」による「助け合い・支え合い・つながる」運動の重要性は、ますます高まっており、引き続き皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。

一方、労福協運動における当面の課題は、「労福協の存在意義と認知度の向上」にあります。

労福協運動は、連合における構成組織という組織構造にお

ける執行機関での運動推進と違い、加盟団体という組織構造の中での理事会による運動推進を行っています。

加盟団体の各組織における立ち位置が違う中で、労福協運動の存在意義と認知度の向上を図るために、どうすべきなのか。合わせて、避けられない人口減少に伴う深刻な労働力不足などの影響による構成組織人員の減少を踏まえた運動体としての「持続可能性」などの課題に対する具体的な取り組みの着手が求められています。

このような背景をもとに、昨年12月に神奈川県労福協と連合神奈川による合同プロジェクトを発足しました。初めて双方の内局役員が、同じ課題認識・抱える課題を共有する中で、県内における労働者自主福祉運動と連合運動を進める骨格（フレーム）の整理・見直しに向けた論点整理を進めてまいります。

また、私たちが働き・暮らす「神奈川県」が持続可能であるためには、多様性を受け入れ、困った人が支援を求めやすい社会づくりや、周りに困った人がいたらすぐに手を差し伸べられる地域づくりが必要です。

神奈川県労福協は、これからも結成当時の「福祉はひとつ」の想いを大切に、労働運動と労働者福祉事業、協同組合をつなげる役割を果たし、それぞれの多様性を認め合いながら「助けて」と言える社会、そして「助け合える」社会づくりをめざして活動を進めてまいります。

今年一年、役員一同全力で取り組んで参りますので、引き続き、皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。ともに頑張りましょう。



労働者福祉中央協議会
会長 芳野 友子

2024年 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は国民生活を一変させ、格差や貧困、社会の分断が深刻化し、コロナ禍以前から抱えていた日本社会の脆弱性が次々と浮き彫りになりました。感染症法上の位置付けが5類に移行され社会経済活動の回復は進みつつありますが、ただ単にコロナ前の状態に戻すのではなく、更により良い社会とすべく、公的セーフティネットの強化を継続して求めていく必要があります。中央労福協では、コロナ禍で生活に困難を抱える人たちやその相談・支援活動を応援するための「ろうふくエール基金」を継続してこられた事は、ひとえに皆さまのご協力があったことです。心より感謝申し上げます。

さて、中央労福協では「高等教育費の漸進的無償化と負担

軽減」に向けて、この間、取り組みを進めてきましたが、今後、国民的合意形成をどのようにはかるのか、もう一段レベルアップした運動の展開が求められています。また、地域共生社会を構築する取り組みとして、地方労福協を中心として取り組まれております、ライフサポートセンターにおける活動の重要性は、これまでと変わることはありません。

しかし、昨今の物価高の影響は生活者を直撃しており、子ども食堂に代表されるように、地域に寄り添った直接的な支援を行う活動が今後ますます必要とされます。労働者福祉運動と共助の輪の拡大に向け、労働団体・事業団体・地方労福協が、それぞれの立場で取り組んでいくことが求められます。中央労福協は引き続き、その結節点の役割を果たすとともに、社会的連帯経済（SSE）の担い手として、NPOや市民団体、社会的企業とのつながりを深めていきます。

労福協の理念にあります、すべての働く人の幸せと豊かさをめざした、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会に向け、これまで以上に皆さまのお力をお寄せいただくことをお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



謹んで新年のお祝いを申し上げます



神奈川県労働者福祉協議会

【加盟団体】

連合神奈川

中央労働金庫神奈川県本部

こくみん共済coop 神奈川推進本部

ワークピア横浜

神奈川県労働福祉協会

神奈川県労働文化センター

神奈川県地域労働文化事業団

神奈川県生活協同組合連合会

横浜労福協

川崎労福協

湘南地域労福協

相模原地域労福協

西湘地域労福協

小田原・足柄地域労福協

三浦半島地域労福協

県中央地域労福協

厚木愛甲地域労福協

(団体名は略称)

連合神奈川

連合神奈川 第35回定期大会を開催

『社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～』

連合神奈川は、11月17日（金）ワークピア横浜において、役員・来賓・代議員・傍聴あわせて215名出席のもと、4年振りに通常どおりの対面形式で第35回定期大会を開催しました。

冒頭、今大会をもって退任する吉坂会長は、3年に及ぶコロナ禍での活動の振り返りとともに、すべての働く者の安心社会をつくりだしていけるよう、新体制への期待を込めて挨拶しました。



定期総会風景

議事においては、2024～2025年度運動方針、会館積立金会計の廃止、予算、規約改正、役員選出、大会スローガン、大会宣言がそれぞれ満場一致で決定されました。

今大会で林 克己会長（電機連合）、阿部 嘉弘事務局長（自治労）の新体制となり、林新会長は「最大の課題となる人口減少による深刻な労働力不足が到来する。社会の維持はもとより、労働組合の存在意義に関わる問題である。連合神奈川の構成組織人員もこの30年で18万人減少している。そしてこれから、これまでと次元の違うレベルで人口が減少する。『今まで出来て来たことが、出来なくなる。』『今までやってこなかったことを、やらなければならないかもしれない。』しかし、『そのことにチャレンジして行く必要がある。』と挨拶し、最後に「団結ガンバロウ」で閉会した。



林新会長

神奈川県 労福協

連合寄付講座「ワークルールとキャリアデザイン」

～ 神奈川県労福協・ろうきん・こくみん共済coopが講義を担当！～

福祉事業団体（神奈川県労福協・ろうきん・こくみん共済coop）は関東学院大学、神奈川大学の2校において、9月下旬より開講している連合寄付講座「ワークルールとキャリアデザイン（全14回）」の一コマの講師を担当しました。

11月22日（水）神奈川大学（履修生65名）、11月30日（木）関東学院大学（履修生75名）において、「将来のライフプランについて」をテーマに、3部構成での講義を行いました。



労福協 中村講師



中央労金 小林講師



こくみん共済coop 片山講師 江口講師

〈内容〉

- I. 「労福協の成り立ちと取り組み」
～労働者自主福祉運動と労福協、労働金庫、こくみん共済coop～
講師：神奈川県労働者福祉協議会 中村 誠（両校）
- II. 「将来のライフプランと身近なマネートラブル」
講師：中央労働金庫神奈川県本部 小林 哲也（両校）
- III. 「身近なリスクと保障について」
講師：こくみん共済coop神奈川推進本部
片山 真吾（関東学院大学）、江口 尚輝（神奈川大学）

神奈川県 労福協

多種多様な社会的課題の解決に取り組み、持続可能な社会づくりに向けて

～「政策制度要請・支援協力要請」に対する回答書を受理～

昨年9月6日に神奈川県に提出した「2024年度に向けた政策制度ならびに支援協力の要請」に対する回答書を12月4日に受理しました。

冒頭、神奈川県川島産業労働局長より「要請されたご意見・ご提案は、現場の生の声として大変貴重な声と認識しています。真摯に向き合い、労働者の皆様の福祉の増進を図る施策に取組みたい」との挨拶を受けました。



回答書を受理する林会長（右）

回答書を受理した林会長は「連合と共通することがあるが、労働者福祉についても持続可能性が必要と思っている。神奈

川県が持続可能であるためには多様性をいかに受け入れていくかということ。困った人が支援を受けやすい。困った人がいたらすぐ手を差しのべられる社会にならないといけない。労福協は『福祉はひとつ』の考えのもとに活動をしている。多様性を求めながら、助けてといえる社会、助け合える社会を作りたい」と挨拶しました。

意見交換の中で金井事務局長は「労福協として、関係各所と連携を図りながら、回答の分析や新たな課題把握をして、次年度への取組みを進めます」と締めくくった。



回答書の風景

中央労金

【大好評につき第2弾!!】60代に必要なお金の基本がまとめて聞ける

～ 退職予定者向けセカンドライフセミナーを開催!! ～

〈ろうきん〉では、2023年11月25日（土）にオンライン形式で「退職予定者向けセカンドライフセミナー」が開催され、253名の方が参加されました。セカンドライフのお金に関することを「まとめて」学べる機会がなかなかない、ということで、今年度は大好評につき2回目の開催となりました。

セミナーでは、講師の(株)マネぷら 渡辺様より【第1部】「退職前にやることリスト」として、年金・雇用保険・健康保険・税制等の説明があり、【第2部】「退職後の資産活用術」では、老後の不安と2,000万円問題、お金を長



質問に対する質疑応答

持ちさせる具体的な方法などについての講演がありました。

終盤では、参加者から寄せられた質問を渡辺先生が回答されており、セミナー

内容をより深く理解することができる構成でした。

〈ろうきん〉では、今後も各種セミナー開催を予定しているほか、各労働組合で

のセミナー・個別相談会など、ご要望に合わせた開催も承っておりますので、ぜひ神奈川県内の〈ろうきん〉各支店までご相談ください。



(株)マネぷら渡辺講師

【参加者の声】

- セカンドライフスタートに際し、定年後に行うべきことが明確になりました。
- 新たに資産運用の相談に行こうと思いました。
- 今後の生活に重要な情報をありがとうございました。Webセミナーは手軽で参加しやすいです。
- 夫婦で一緒に受講出来て良かったです。

こくみん共済 COOP

日本の労働運動・協同組合運動の原点を学ぶ「労済運動体験学習」を開催!

～ 関東大震災から100年が経った今、防災・減災について考える ～



賀川豊彦 (1888 ~ 1960)

2023年10月から11月にかけて、「労済運動体験学習」を開催し、33団体33名の方々に参加いただきました（開催地：兵庫県神戸市・淡路市）。

「協同組合の父」といわれる賀川豊彦氏が活動していた神戸市にある賀川豊彦記念館では、西義人顧問より基調講演をいただきました。大正時代から第二次世界大戦後にかけて、賀川豊彦氏が貧困解決の仕組みづくりに献身的に活動した結果、協同組合や共済、ボランティアなど、現代社会の組織や活動の多くは、日本の労働運動や協同組合運動が原点になっていることを学びました。

【参加者の声】.....
・労働者同士が助け合うことの必要性を再確認できた。

・労働者として福祉活動をしていることにも、その原点を知る、大変よい勉強になりました。

次に1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の関連施設として、「人と防災未来センター」と、震源地となった淡路島にある「北淡震災記念公園」を訪問しました。実際の映像や北淡震災記念公園の米山正幸代表取締役による被災体験講話など、防災・減災の重要性を再認識する機会となりました。



人と防災未来センター

関東大震災から100年が経ったいま、現代であればどのような被害が想定されるか、防災・減災に向けた備えや、自然災害に対する住まいの保障を点検・見直しをしてみたいかがでしょうか。

【参加者の声】.....

- ・防災、減災、備え準備の大切さを知ることができ、今後の対策を含めて改めて考えるよい機会になりました。
- ・地域コミュニティの重要さがよくわかる内容で共済や組合としての活動の一助となると共に、業務として災害対応をする場合での良いアドバイスをもらったと思う。

こくみん共済 coop では「たすけあいで防災・減災」活動を行っています。

お住まいの地盤診断サービス
地震・液状化・浸水の可能性など、すぐ分かる!

ご住所を入力するだけで、お住まいの地盤サポートマップが無料で作成・ダウンロードできます。
※ご入力いただいた住所は地図の表示以外では使用しません。

二次元コードをチェック!!

公式キャラクター ピんぐん

横浜労福協

働くものと市民の祭典

～「ヨコハマwai!wai!フェスタ2023」開催～

地域
労福協
だより

秋山運営委員長挨拶

フェスタの開催となります。

「がんばろう東北！横浜から愛の風を！」をテーマに掲げ、参加する出店店舗の売上金の一部を東北被災地支援や神奈川新聞厚生文化事業団、こども食堂支援として寄贈していきます。

セレモニーでは、主催者を代表して秋山純一運営委員長から「フードドライブの活動を通して食の支援につな

げよう」と呼びかけがありました。

ステージでは横浜ビーコルセアーズのチアリーダーによるパフォーマンスや災害救助犬の訓練などで大いに盛り上がりました。

出店各店舗では、フードドライブ、ミニバス・ミニ地下鉄、ゲームやくじ引き、肉まん・あげパン・カレーなどの飲食等に多くの人が集まりにぎわいのあるフェスタとなりました。働く者が市民とのつながりの中で、地域福祉を大切な課題として取り組んでいくことの意義を感じさせられるものとなりました。



横浜労福協 鐘ヶ江会長（左）

三浦半島
地域労福協

三浦海岸駅周辺クリーンキャンペーン&みかん狩りを開催！

～クリーンキャンペーン後のみかんは格別でした～



三浦海岸駅周辺をきれいにしました

2年連続で三浦海岸駅のクリーンキャンペーンになりました。

絶好の秋晴れの中、230名を超える方（児童ホーム67名、OB会15名を含む）が参加してくれました。

10時から三浦海岸駅前にて開会式を行い、主催者の労福協 中澤会長挨拶の後、三浦市 吉田英男市長が挨拶を行い、クリーンキャンペーンの重要性を訴えました。

式典終了後、三浦海岸駅から、みかん狩り園までを4

10月22日（日）10時から三浦半島地域連合・労福協の共催で2023クリーンキャンペーンを行いました。

昨年、非常に好評だったため

2年連続で三浦海岸駅のクリーン

コースに分けて約1時間清掃活動を行い、三浦海岸の海を見ながら清掃する人も多数いました。ゴミの収集70ℓの袋で10袋を超えるゴミを収集することが出来ました。



みかんは小ぶりでも格別の味!!

清掃（ボランティア活動）後はマホロバマインズ三浦の前にあるやまさみかん園でみかん狩りを行い、美味しいみかん（今年は暑さの影響が小ぶりでしたが非常に甘いみかんでした。）に参加者は大満足のうちに終了しました。今年度は日頃、お付き合いをしている児童施設も招待したところ、2施設で67名参加して大変喜んで頂きました。

相模原
地域労福協

労働組合と労働者自主福祉運動の理念と歴史を振り返る

～労働者福祉運動＝「福祉の充実と生活向上」を目指して～



中央労福協 高橋講師の講演

働運動の恩恵が、当たり前のように受け取れる今、本当に組合が必要と感じているのだろうか？

2. 「連帯・協同・絆の意味を考える」

自主福祉セミナーを通して、組合の成り立ちについて学ぶことができた。改めて組合の存在意義は、労働者のための生活の向上であり、組合員が中心の労働運動が原

1. 「組合離れ」

昨今組合員の組合離れ化が深刻である。役員の人選もしかり、組合利用しかり、共助の関係とは程遠い。これまでの諸先輩方の構築してきた労

点である。賀川豊彦が「協同組合中心思想7か条」で説いた「～繰り返し伝え学ぶことでしか協同組合は発展しない」はまさに今こそ組合員に問いていく必要がある。

労働者福祉運動＝「福祉の充実と生活向上」を目指す一点で結集し、意思統一をはかると共に、互助共済機能の活発化による福祉の増進、社会保障制度の確立、労働者の生活福祉問題解決のための政治的結集をはかる組織をめざし、今日も組合員とその家族を守るため孤軍奮闘するのだろう。



熱心に聞き入る参加者



おいしく食べて、いつも元気に

大根 (大根、アブラナ科ダイコン属、英語 : daikon radish)



欧米では一般的な radish とは種類が異なるためフランス語 : radis blanc、イタリア語 : ravanello giapponese のように区別)。地中海または中央アジア原産とされ、各地で肥大した根を食用とする他、葉も食材となり、種子から油を採ることも。根は淡色野菜、葉は緑黄色野菜。多くの品種があり、皮の色も白だけでなく、赤、緑、紫、黄、黒と様々。世界一大きくて重い桜島大根、世界一長い守口大根は有名。

◎まずは選ぶ

皮表面はみずみずしく、ツヤとハリがあるもの、上部(葉の近く)が黒ずんでいないもの、水分をたっぷり含んでずっしり重いもの、ひげ根が等間隔に上から下まで素直に並んでいるもの。カットされたものは、断面のキメが細かくみずみずしいもの、スが入っていないもの。葉付は、鮮やかな緑色でピンと伸びた勢いのあるものを。

◎上手に保存

常温保存は、葉を切り落とし(葉は冷蔵庫で保存)、新聞紙で包み冷暗所に立てて保管(1~2週間が目安)。カットした大根は冷凍保管でき、味浸みがよい。乾燥保存の定番は「切り干し大根」だが、輪切り・スライスなどでも乾燥保存できる。

◎もっとおいしく食べる

おいしく沢山食べるポイントは「部位ごとに合う調理法」を知ること。

上部 : 生食・サラダ、中央部 : おでんやぶり大根などの厚切り料理、下部 : 大根おろし、みそ汁やスープ、葉 : 漬物や炒めて常備菜に。変わりメニューとしては、大根カレー、大根グラタン、塩昆布を使って即席漬け、大根のキンピラ。アレンジ自在の大根は切り方を変えて鍋も多彩。

◎すごい力だ、大根

汁はビタミンCやアミラーゼを多く含む。葉はビタミンAを多く含み、青汁の原料にも。カリウムは、ナトリウムを排出する作用があり、塩分の摂り過ぎを調節するのに役立つ。消化酵素を含むことで、血栓防止作用や胃腸の機能を活性化させ、胃もたれや二日酔いの症状緩和が期待。



会
議

&

宴
会

ワークピア横浜の貸会議室で完結

ご相談・ご予約は電話またはメールから (予約受付時間 9:00~17:15 (5/2~5/5、年末年始休館))

TEL : 045-664-5252/FAX : 045-664-6743

〒231-0023 横浜市中区山下町24-1

メール : wpia.info@workpia.or.jp

山下公園、県民ホールとなり 日本大通り駅から徒歩5分

インフォメーション

管理職、上司、リーダーなら!必ず知っておきたい!「メンタルヘルスラインケア講座」

コロナ禍により働き方が一変し、多くの職場で在宅勤務やテレワークが進み、コミュニケーションの減少、人間関係の希薄化などにより新たな不安やストレスが生じています。社員のメンタル不調は組織の生産性低下や職場のトラブルにつながりかねず、その対策には、管理者の役割が重要であり、不調への速やかな気づきと適切な対応が求められます。本講座では、管理職による安全配慮義務、ラインケアの重要性、より良い職場づくりに必要なコミュニケーションのあり方など、管理者として取り組むべきラインケアの基礎知識と対策について具体的な対処法を交えながら解説致します。この問題に関心をお持ちの全ての皆様に、広くご理解とご認識を深めて頂ける大変良い機会です。是非、ご参加下さい。

※ラインケアとは? : 管理者(管理職・上司)が部下のメンタル不調に対して、早期的に、気づき、指導・相談を行い、職場環境の改善を行う取組みの事です。

【受講方法】 Zoomライブ講義 及びオンデマンド配信

【受講料】 4,000円(税込)

【日程】 Zoomライブ講義: 令和6年2月8日(木) 14:00 ~ 16:00 (2時間)

オンデマンド期間: 講義翌々日から1か月間! ライブ終了以降は、希望日から1か月間視聴可。

【講師】 山本 晴義(やまもと はるよし) 先生

医学博士(専門分野: 内科 心療内科 心身医学) 独立行政法人 労働者健康安全機構 横浜労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長

【申込】 (公財) 神奈川県労働福祉協会

【電話】 045-633-5410

詳しくはホームページをご覧ください。

※詳しくは、ホームページを御覧下さい。

神奈川県労働福祉協会

検索

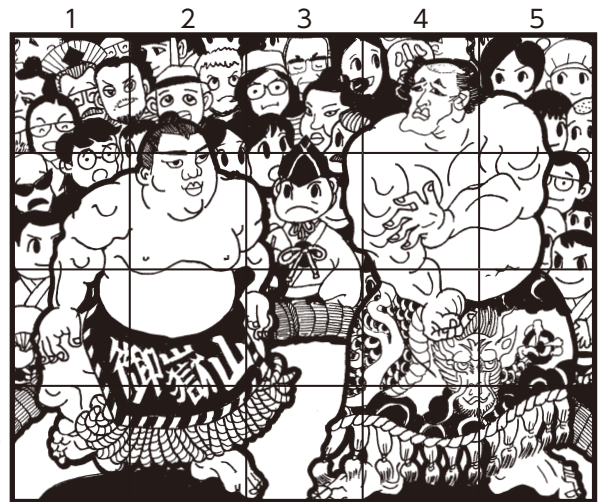
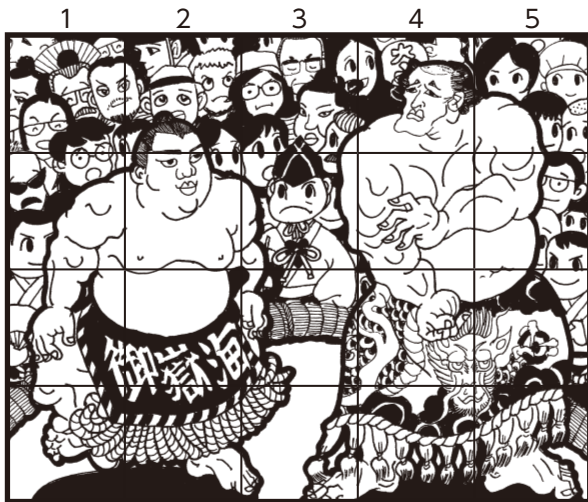


山本先生

正解者の中から抽選で10名の方に図書カード(1,000円)を進呈いたします。

下に並んだ2枚の絵を見比べて違っている箇所を8個探してください。(画: 西澤 修氏)

8つのまちがいがさがし

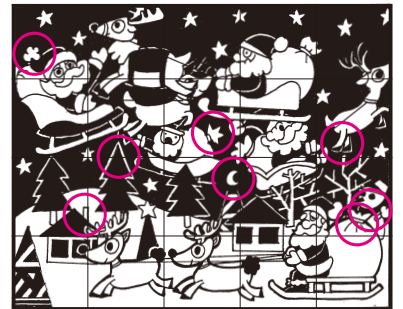


【応募方法】

- ① まちがいがさぎの回答(8個)。まちがっている箇所のマスの座標をご記入ください。単独マスの座標の場合…英字と数字(A-1、B-2等) 複数のマスの座標にまたがる場合…複数の英字と数字(A・B-1、C・D-5等)、もしくは、英字と複数の数字(B-1・2、C-3・4等) ※同じマスに複数のまちがいがある場合もあります。
- ② 住所、氏名、勤務先を明記の上、ご応募ください。
- ③ 応募には「かながわ労福協」1月号に対するご感想、ご意見を必ずご記入ください。
- ④ 応募はホームページ応募欄からメールまたはFAX、ハガキでお送りください。 ※メールの件名には【クイズ応募】と入力してください。
- ⑤ 当選発表は図書券の発送をもってかえさせていただきます。
- ⑥ 締切 2024年2月29日(木)

【宛先】 〒231-0026 横浜市中区寿町1-4 かながわ労働プラザ5F 神奈川県労福協 編集委員会あて メール: rofuku@kanagawarofukukyo.com FAX: 045-227-6291

前回の正解



読者のお便り

- 個人的には慣れ親しんだ浦賀を紹介していただき、嬉しく思います。今年はいいことがなかったので久々に叶神社でエネルギーを貰いたい! (横浜市 M様)
- 我が家は実家からお米を送ってもらっているので、お米に困ったことはありませんでした。今年から【お米一合運動】に参加させてもらおうと思います。(秦野市 S様)
- ペリーは浦賀ではなく久里浜海岸に上陸したとは、初めて知りました! (平塚市 K様)

- 神奈川ぶらり散歩がとても気になりました。猛暑もようやくおさまり良い気候になったので家族で出かけて楽しみたいと思います。(藤沢市 W様)
- 「マグロづくし」70キロのマグロの解体ショー、とても楽しそうなイベントでいいですね。4回もやってもらえると参加者が多くても楽しめるのでいいですね。(大分県 T様)
- 長芋をすりおろし麦ごはんにかけてと力が出ます。(茨城県 K様)

Facebook はじめました

神奈川ぶらり散歩



東海道・川崎宿エリア

川崎宿は1623年に開設され400年。品川宿から六郷川(多摩川)を渡り、神奈川県最初の宿場町です。六郷川の舟渡し跡から八丁噺まで2 kmほどの東海道(旧東海道)が幅員も含め当時のまま残っています。残念ながら建造物などは度重なる災害や空襲で残っているものはごくわずかですが、400年前を想像しながら「ぶらり散歩」を楽しみましょう。



公認キャラクター「飛脚の六さん」

ぶらりルート

- 1 六郷の渡し
慶長5(1600)年に六郷大橋がかけられましたが洪水により度々流され、元禄元年(1688)以降は明治7(1874)年まで渡しが続けられました。明治初年の天皇、行幸の際には船橋で渡りました。
- 2 万年屋跡
川崎宿の歴史・文化を学ぶとともに、それを後世に伝え、地域活動・地域交流の拠点になることを目指して、平成25(2013)年10月に開館しました。
- 3 川崎稲荷社
古くから川崎宿のお稲荷さまとして、土地の人々の信仰を集めてきた神社。戦災で社殿や古文書は焼失したため、創建は不明。2月の第2日曜日に町会による稲荷講の祭りが開催され、餅つきが行われ参拝者に配られています。
- 4 田中本陣跡
川崎宿は戦災などにより昔の街並みは失われ、また多くの資料を焼失したが、今回の展示ではそれを逆にとり、ケースの中に入った資料を外から眺めるだけの従来型展示ではなく、自分で触ったり操作したりできるような体験型展示を多くし、楽しく学べるようにしました。
- 5 一行寺
別名「閻魔寺」と言われ、閻魔大王像があります。境内には川崎最初の寺子屋を開いた浅井忠良の墓と、富士講の西川満翁の墓があります。毎年、1月と7月に閻魔大王像を特別公開しています。
- 6 宗三寺
稲毛神社は、明治以前は「川崎山王社」と称し、現在も氏子の間では「山王さん」の名で親しまれています。社伝では欽明(さんめい)天皇の時代(6世紀頃)に鎮座したといひ、江戸時代に編さんされた『新編武蔵風土記稿』では、源頼朝の頃、佐々木高綱が奉行(ぶぎょう)となって社殿を造営したと伝えています。
- 8 佐藤本陣跡
『麦の穂をたよりにつかむ 別れかな』元禄7年(1694)5月、故郷伊賀に向かった松尾芭蕉は、見送りにきた弟子たちと川崎宿のはずれ(京口)近くの茶屋で別れを惜しみ詠んだ句です。俳聖・松尾芭蕉の足跡をしるした句碑で、文政13年(1830)俳人一種によって建立されました。
- 9 妙遠寺
『麦の穂をたよりにつかむ 別れかな』元禄7年(1694)5月、故郷伊賀に向かった松尾芭蕉は、見送りにきた弟子たちと川崎宿のはずれ(京口)近くの茶屋で別れを惜しみ詠んだ句です。俳聖・松尾芭蕉の足跡をしるした句碑で、文政13年(1830)俳人一種によって建立されました。
- 10 小土呂橋の親柱
『麦の穂をたよりにつかむ 別れかな』元禄7年(1694)5月、故郷伊賀に向かった松尾芭蕉は、見送りにきた弟子たちと川崎宿のはずれ(京口)近くの茶屋で別れを惜しみ詠んだ句です。俳聖・松尾芭蕉の足跡をしるした句碑で、文政13年(1830)俳人一種によって建立されました。
- 11 松尾芭蕉の句碑
『麦の穂をたよりにつかむ 別れかな』元禄7年(1694)5月、故郷伊賀に向かった松尾芭蕉は、見送りにきた弟子たちと川崎宿のはずれ(京口)近くの茶屋で別れを惜しみ詠んだ句です。俳聖・松尾芭蕉の足跡をしるした句碑で、文政13年(1830)俳人一種によって建立されました。

東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN

川崎宿は、江戸時代に東海道五十三次の一つとして栄え、現在の川崎の街を形作った原点といえます。東海道かわさき宿交流館は、川崎宿の歴史・文化を学ぶとともに、それを後世に伝え、地域活動・地域交流の拠点になることを目指して、平成25(2013)年10月に開館しました。

川崎宿は戦災などにより昔の街並みは失われ、また多くの資料を焼失したが、今回の展示ではそれを逆にとり、ケースの中に入った資料を外から眺めるだけの従来型展示ではなく、自分で触ったり操作したりできるような体験型展示を多くし、楽しく学べるようにしました。

4階 多目的ホール(有料集会所など) 地域活動・地域交流等の拠点としてご利用下さい。集会所と談話室は、予約制の貸出し施設です。

3階 江戸時代から現代への移り変わり 江戸時代から現代へつながる川崎の変貌を様々な角度から紹介するコーナーです。

2階 川崎宿の展示 床面の川崎宿の絵地図の両側に、「川崎宿ものがたりBOX」を設置。このBOXは、川崎宿で起こった様々な物語を紹介します。

1階 お休みどころ 1階は、街歩き途中などに気軽に立ち寄って休んでいただく場所です。

ご利用案内

1階～3階 展示室/休憩・交流スペース
 [開館時間] 9:00～17:00 (物販コーナーは16:30まで)
 [休館日] 月曜 (月曜日が、「国民の祝日に関する法律」に規定する休日にあたる場合は開館し、その直後の休日でない日を休館とします。)
 12月29日～1月3日
 [入館料] 無料

4階 集会所・談話室
 [開館時間] 9:00～21:00
 [休館日] 12月29日～1月3日
 予約・利用料金制の貸室です。予約方法・利用料金は、こちらをご覧ください。
 [利用料] 有料

〒210-0001 神奈川県川崎市川崎区本町1丁目8番地4 TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

※当機関誌作成にあたり、東海道 かわさき宿交流館 様より写真等をご提供いただきました。